

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ふくもくの家

グループの名称

活木会

直近採択グループ番号

06-0094-0138

(グループ代表者)

代表者名

鶴川 太一

代表者印

代表者所属先

株式会社鶴川工務店

代表者所在地

福島県会津若松市門田町大字一ノ堰字村西987

代表者電話番号

0242-27-5831

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社オザワホームキット

事務局担当者名

石田 健二

印

事務局郵便番号

963-0112

事務局所在地

福島県郡山市安積町成田字三渡22

事務局電話番号

024-937-4550

事務局FAX

024-937-4551

事務局担当者E-mail

ohk-ishida@if-n.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	ふくむくの家
2. グループの名称(必須)	活木会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0094-0138
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	福島県、新潟県、栃木県
5. 結成年(必須)	2017 年
6. グループ代表者名(必須)	鶴川 太一
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社鶴川工務店
8. グループ代表者所在地(必須)	福島県会津若松市門田町大字一ノ堰字村西987
9. グループ代表者電話番号(必須)	0242-27-5831
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社オザワホームキット
11. グループ事務局担当者名(必須)	石田 健二
12. グループ事務局郵便番号(必須)	963-0112
13. グループ事務局所在地(必須)	福島県郡山市安積町成田字三渡22
14. グループ事務局電話番号(必須)	024-937-4550
15. グループ事務局FAX番号(必須)	024-937-4551
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	ohk-ishida@if-n.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	念書入手困難な場合、製材・集成材製造・合板製造構成員の証明を持って代替とする。
II. 製材・集成材製造・合板製造	5	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	3	
IV. プレカット	2	
V. 設計	2	
VI. 施工	10	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1. 都道府県の産地認証制度等によるもの 2. 民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3. 林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4. クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	福島県産木材	福島県	県産木材証明制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	基本的には先着順とする。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	1	戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸	
優良建築物型									
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
採択床面積		m <sup>2</sup>	交付申請床面積		m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積		m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ふくもくの家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県、新潟県、栃木県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 活木会	(結成年) 2017年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0094-0138	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	福島県はH28年省エネ基準において3地域、4地域、5地域の3区分が合わさった地域で、夏は30度を超す暑さ、冬は雪が降る寒さがある。それらを考慮した上でH28年省エネ基準以上の省エネ性能を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	大工の伝統技術を持つ地域工務店による、東日本大震災の経験を生かした耐震等級2以上の耐震性能住宅。福島県で育った木材を多く使用し、福島県の気候に合った住宅。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	福島県の気候に合った福島県の木材を内装にも採用し、林業の活性化にもつなげる。2020年の省エネ基準改正に向けて、プランの段階からそれを意識した間取り、開口部まで考慮したデザイン。	◎
④①～③の背景	福島県は夏と冬の気温差、朝と晩の気温差共に寒暖差が激しく、それに対応した性能が必須となること。また、東日本大震災の経験によって耐震への関心が高い地域であること。県土の約70%が森林で林業も盛んな県であるが、近年は高齢化や原発事故等の影響で福島県の林業も停滞が問題視されている。福島県の木材を使用することにより、豊かな森林を次世代につなげて行くことが背景にある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材(土台、柱、梁・桁)に関して、仕様の統一化を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で標準仕様を検討し、福島県産木材を積極的に採用する。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材(土台、柱、梁・桁)において、50%以上合法木材とする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員により共通仕様を設け、共同購入により低コスト化を図る	○
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ定期会合により物件情報を共有する事で、合理化を図る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 定期的な会合や勉強会を行い、流通会社が検討委員会の委員長とする事で流通状況の意見交換をしながら、検討する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通会社である事務局は商品情報や施策情報を収集し、施工構成員に周知させる。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通仕様、標準図をもとに施工し、引渡し時に竣工図面を提出する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地質状況に応じた地番調査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積書は、極力専門用語を避けて、消費者にわかりやすくする。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 出来る限り構造見学会、完成内覧会を実施し、性能をアピールする。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で生産性を上げる仕方を研究・検討し、週休2日制の導入を推進する。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で生産性を上げる仕方を研究・検討し、ベースアップを推進する。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 社会保険への加入は必須項目として事務局で検討を促す。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場での危険予知活動の実施、年1回の健康診断の実施は必須とする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	各補助対象住宅の性能審査の手続きに関しては、未経験の施工員又は人員の関係で手続きが困難な場合、第三者事業者のサポートを活用し、円滑な更新手続きにて性能評価機関へ適合証の発行を依頼する。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)		(地域型住宅の名称) ふくもくの家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県、新潟県、栃木県	
2. グループの名称・結成年月(必須)		(グループの名称) 活木会	(結成年) 2017年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)		06-0094-0138		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報機関への登録を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ジャパン建材(住宅履歴の図書館)に保存・蓄積する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主、施工構成員は共通IDを持ち、事務局も共有する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通の維持管理計画書を使用し、それに基づいて行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 大規模な自然災害が発生した際には、応急点検・補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 受領書に施主からサイン、押印をもらい、事務局に提出する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で企画を計画する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で企画を計画する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: イベントを開催し、相談会を実施する。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通の維持管理計画書に基づいて、流通店が中心となり勉強会を実施する。	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保証以外に保険会社が提供する延長保険サービスを提案する。	○	
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全が実施できない場合は、グループ内構成員による代替対応を行う。	◎
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期会合時に勉強会を実施する。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
	エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な勉強会や、対象物件を利用した見学会を行う。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通仕様、標準図をもとに施工し、引渡し時に竣工図を提供する。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築図面を現場写真を事務局に提出する。	◎	
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年を見据えた省エネ性能住宅に取り組む。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通会員がバックアップして、施工会員を研究する。	◎	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 19 今年度の参加目標人数 5	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 5	○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講者に対して、事務局が講習会実施日を案内する。	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: BELSの取得を検討する。	○	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		BELS工務店などの勉強会を行い、積極的に取り組んでいく。	○	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ふくもくの家	(地域型住宅供給対象地域) 福島県、新潟県、栃木県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 活木会	(結成年) 2017年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0094-0138	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
<p>I・II 原木供給・製材・集成材製造(原木供給は海外を含む場合もある)</p> <p>↓</p> <p>III 木材流通</p> <p>↓</p> <p>VI 施工</p> <p>IV プレカット</p> <p>↓</p> <p>III 木材流通</p> <p>↓</p> <p>VI 施工</p> <p>※上記が代表的な地域材の流れであるが、例外となる場合もある。</p>		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	◎
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> ふくもくの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 福島県、新潟県、栃木県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 活木会	<small>(結成年)</small> 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0094-0138	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
ふくもくの家 高度省エネ型住宅の特徴  <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年省エネ基準(断熱等性能等級4)以上であり、夏季の日射取得係数、冬季の日射取得率を考慮した設計をする。</li> <li>・高効率機器類(給湯器、照明機器、冷暖房機器)の採用、節水性の高い設備機器の採用。</li> <li>・太陽光発電の効率を考慮した設計。</li> </ul> ふくもくの家ゼロ・エネルギー住宅  <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての地域において高水準の性能を目指し、Ua値は基準値以下(3地域 0.50以下、4地域 0.60以下)とする。</li> <li>・BELS認定の取得を必須とする。</li> </ul>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。